

一般質問

立 鈴
議員

○板山、棕呂路トンネルの現況について

質 板山、棕呂路トンネルの現況について伺うが、松浦市域は原子力発電所地30kmUPZ圏内に位置している。従来は経済物流道路及びトンネル建設は非常に優先順位は低いが、原子力発電所から30km圏内に位置している地の新たな道路、トンネル建設は緊急救命救急道路として板山トンネル完成開通後引き続き工事が進められるよう強く要望を行ってほしい。しかも、子産坂トンネルのように山の上にトンネルを作っても、大雪降るときなどは高齢者の方は躊躇される。また利便性に欠けている。棕呂路トンネルは救命救急道路として非常に重要トンネルとして積極的継続活動をしていただきたい。

市長 平成23年3月11日の東日本大震災、福島第一原発事故があつて、玄海原子力発電所においても同様な事態が起こり得るかもしれないことから、トンネルの必要性を訴えてきたことが一つの契機となつて、板山トンネルが先行して建設されたと思います。引き続き、上志佐地域の皆様の避難に必要な道路整備について国や県に要望していきます。

トンネルの掘削位置等についても、可能な限り地元の皆様が利用可能なように、要望の中で伝えていきたいと考えています。

○道路安全利用について

質 市内の横断歩道に関して伺いたい。長崎県内70箇所危険とされる横断歩道があると新聞に記されていたが、市内では現状に合った設置がなされているのか。国内において登下校時、悲惨な通学路事故が多発している。市内でも、青島から乗下船する方が県道を渡る所に横断歩道がないために高齢者の方は特に危険性の中道路を渡っておられる。早急な改善を願う。

防災課長 横断歩道については、公安委員会が設置基準を設定されます。設置した当時と現在で使い方が違っているところもあると思いますので、松浦警察等と協議しながら、必要な分とそうでない分の検討をさせていただきます。

建設課長 現在の改良工事の中では横断歩道の設置の計画はありませんが、改良事業完了後は道路横断時の危険性は高くなり、横断歩道設置の必要性があります。周辺地域の方々の意見収集や設置場所の検討を行い、長崎県と協議をして公安委員会への設置要望など、市の関係部署と連携しながら対応していきたいと考えています。

一般質問

川下
議員

○8月の大雨による災害について

この度被害に遭われました皆様には心よりお見舞いいたしますとともに、一日も早い復旧を願っております。

質 災害時に必要なハードウェアの整備についてお尋ねします。高野地区の土砂災害が発生した初期の段階では立ち入ることができず災害発生状況の把握できないでいたと聞いている。ドローンを市で所持していないのか。

防災課長 現在は所有していません。**質** ドローンを所持することで災害時だけでなく平時の防災減災またそれ以外でも活用方法があると思うが、市としてもドローンの所持を願いたい。

市長 今回私も現地を見た際に、ドローンがあればと考えたところです。ドローンの活用については、以前の検討では、十分な活用、費用対効果等について判断できなかったということがありましたが、今回の被災を受けてその必要性について改めて検討していきたいと考えています。

○市内中学校における楽器の管理について

前回の質問にて問題提起ができたと思うが、具体的な取り組みは聞き出せなかったので一歩深めるようにと再度伺う。

質 この3ヶ月間で新たな取り組みとしてどのようなことをしたか。

教育総務課長 市内学校の楽器の保有状況を確認しながら、楽器を必要とする学校に再配置するための準備を現在進めているところです。

あわせて、ふるさと納税の新しい仕組みで、家庭で使われなくなった楽器をふるさと納税として寄附していただく制度がありますので、その制度を利用して楽器を寄附していただけないかと検討しているところです。

質 楽器寄附ふるさと納税というものと思うが、これはいつから始めるのか。

政策企画課長 10月から参加を検討したいということで今協議を進めているところです。

質 どのような流れ、段取りで進めていくのかもう少し説明を。

政策企画課長 学校から要望があつた楽器を寄附したい方が申し込むと、楽器の査定業者が金額を査定して、最終的に市へ楽器が送られてくるという流れになっています。また、寄附者には、楽器の査定額が税金控除されるメリットがあります。

このほかに、「松浦高校魅力化向上について」質問しています。